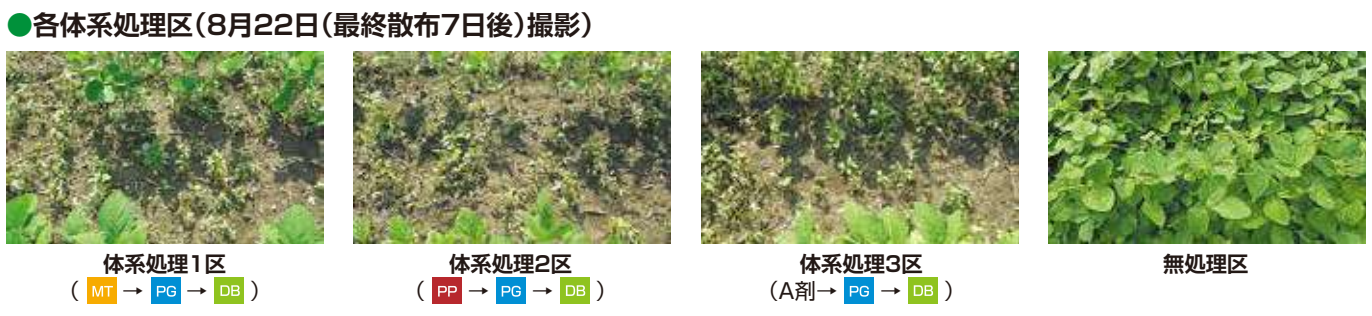
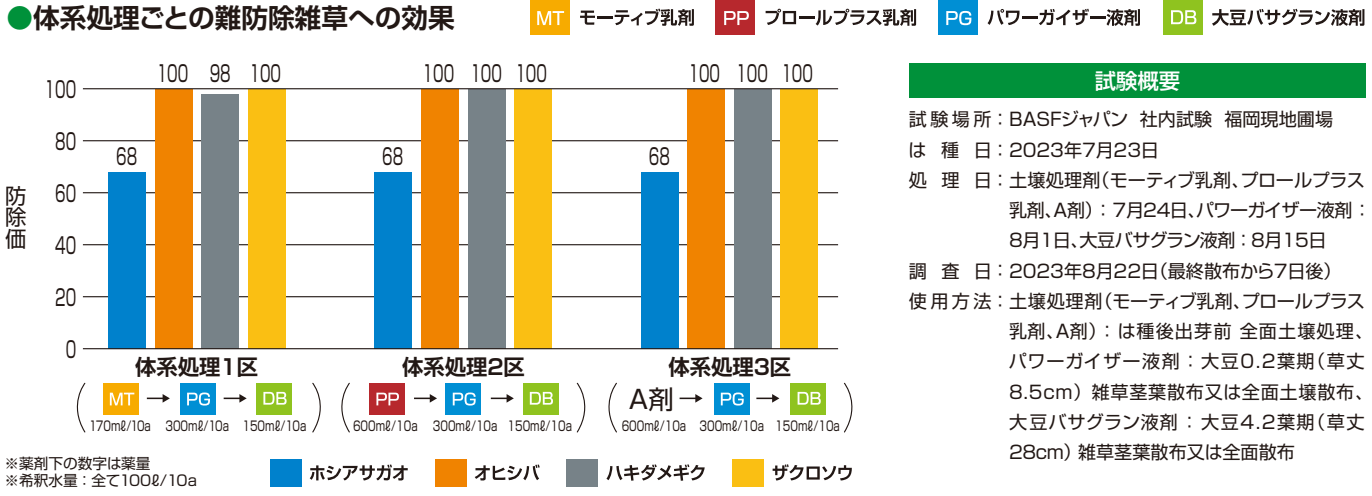


帰化アサガオ類の防除技術紹介

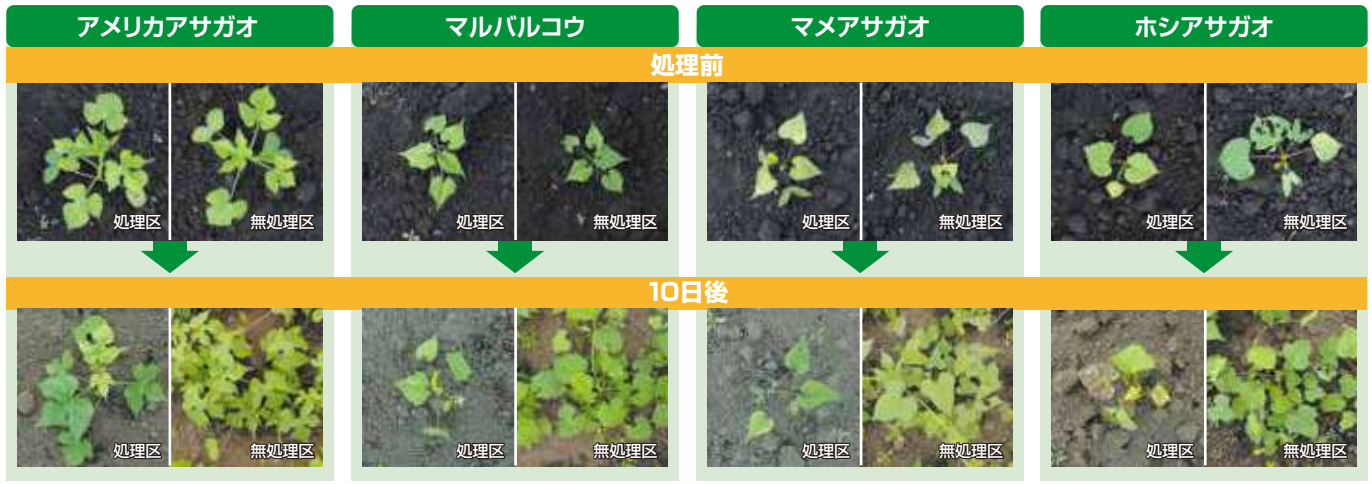
コストのかかる難防除雑草の除草。モーティブ乳剤の活用で低コスト化を実現しました!

モーティブ乳剤+パワーガイザー液剤+大豆バサグラン液剤(+バスタ液剤)による体系処理の有効事例



モーティブ乳剤→パワーガイザー液剤→大豆バサグラン液剤の体系処理をタイミングよく行うことで、ホシアサガオ防除の低コスト化に成功しました。

パワーガイザー液剤を使って、中耕増土までの余裕を確保しましょう!



撮影場所：(公財)日本植物調節剤研究協会 研究所
 処理薬剤：パワーガイザー液剤 300mL/10a
 処理日：2018年7月23日
 撮影日：8月2日(処理後10日)

いずれのアサガオ種に対しても10日後まで強い抑制効果を示した。
 ✓ アサガオ種を選ばず、強い抑制効果を発揮(だいたいの選択性除草剤で唯一)
 ✓ アサガオの生育が抑制されるため、余裕のある効果的な中耕増土につながる。
 ✓ 続けて薬剤散布をする場合は、散布14日後を目安に。

パワーガイザー液剤は、異なるアサガオ種が混発する圃場でも安心して使用でき、次の管理まで余裕をもってつなぐことができます。
 また、土壌処理を失敗した場合のレスキュー剤としても活用することができます。

大豆除草剤 殺草スペクトラム

雑草名	モーティブ乳剤	パワーガイザー液剤	大豆バサグラン液剤		バスタ液剤
	は種後出芽前 (雑草発生前)	全面散布(茎葉+土壌) 畦間処理	全面 茎葉散布	畦間処理	全面茎葉散布 (は種前・出芽前) 畦間処理・株間処理
一年生広葉雑草	シロザ	○	△	○～○	○
	コハコベ	○	○	○	○
	タデ類	○	○	○	○
	タニシバ	○	△	○～○	○
	ノボロギク	○	○	○	○
	イヌビユ	○	○	△	○～○
	アオゲイトウ	○	△	○～○	○
	ナズナ	○～○	○	○	○
	スカシタゴボウ	○～○	○	○	○
	ツユクサ	○	○～△	△	○～△
一年生イネ科雑草	スベリヒユ	○	△	○	○
	イヌホオズキ	○	○～△	○～○	○
	カヤツリグサ	○	○～△	△	○
	イヌビエ	○	○	×	×
	エノコログサ	○	○	×	×
	メヒシバ	○	○	×	×
	オヒシバ	○	×	×	○

○：極大 ○：大 △：中 ×：なし

パワーガイザー液剤を用いた体系処理の有効事例 ～アサガオ類以外の難防除雑草～

やっかいなイヌホオズキをパワーガイザー液剤で除防

大豆の収量確保のポイントは、結局雑草対策だと思えます。草がぼうぼうの圃場は、収量が期待できないのが分かってしまいます。私の圃場では、数年前からイヌホオズキに困っていました。収穫時のコンバインに混入や、手取り除草が必要で大変でしたね。でも、パワーガイザー液剤は、イヌホオズキの発生を大分抑えてくれて、大変助かりました。

大豆3葉期まで
パワーガイザー液剤
全面土壌散布

大豆生育期
大豆バサグラン液剤
散布

中耕増土

中耕増土

柳澤 兵庫さん(新潟県)
 栽培作物：水稲、大豆

パワーガイザー液剤の導入で手取り除草の手間を削減

私たち西部開発では320haほどの面積で大豆を栽培しています。雑草管理にも細心の注意を払っていますが、天不順などで、予定通りに土壌処理剤を散布できなかった圃場では、ツユクサ、ワルナスビ、アレチウリといった雑草が問題化します。今年から大豆出芽後の雑草対策に、パワーガイザー液剤を取り入れました。問題雑草にも高い効果があり、おかげで手取り除草の手間をかなり削減することができました。

は種後出芽前
フロールプラス乳剤
散布

大豆3葉期まで
パワーガイザー液剤
全面土壌散布

株式会社 西部開発農産 清水 孝一さん(岩手県)
 栽培作物：水稲、大豆、小麦、そば

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は農場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。
 本資料は2025年4月の知見に基づいて作成されています。

BASFジャパン株式会社
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
 ☎0120-014-660 https://crop-protection.basf.co.jp/

BASF-0858 1
 202504

BASF We create chemistry

BASF栽培支援ソリューション
 ガイドブック(大豆版～雑草管理特集～)

あなたの圃場に合った
 栽培管理を提案いたします。

最先端の栽培管理支援システム
 xarvio®(ザルビオ)フィールドマネージャー

xarvio® Digital Farming Solutions powered by BASF

©BASF社の登録商標

「雑草管理プログラム」活用事例

大豆畑から雑草が消え、収量が80%アップ!

長年悩んでいた難防除雑草対策に成功!
 初めて使ったパワーガイザー液剤も、ザルビオのタイミング通りに散布を行うことで、効果的に使用できました。

ザルビオの推奨時期に除草剤を散布した結果、毎年悩んでいた雑草を効果的に防除でき、手取り作業も不要になりました。収穫時もコンバインに雑草が絡まることなく、スムーズに作業できました。さらに、収量が大幅に向上し、除草剤のコストを12%削減、手間や労力も大幅に軽減。最終的には、昨年比80%の増収を達成しました。

富田 裕司さん(栃木県・42歳)
 栽培作物：水稲、大麦、大豆、そば



公的機関でも有効性が確認されています!
 日本雑草学会 第63回大会(2024年3月29日)

xarvio®フィールドマネージャーの雑草管理プログラムを活用した
 ダイズの帰化アサガオ類防除※

結果考察

- 大豆の生育予測精度は実用可能な範囲である。
- 帰化アサガオ類を大幅に低減：慣行区対比で平均84%減(71～96%)。
- 大豆子実収量が増加：対慣行区対比で平均10%増(90～166%)。
- 手取り除草を省力化：工数を87%削減(人件費5,396円/10a減)

ザルビオの雑草管理プログラムに基づいた適期除草体系を導入することで、帰化アサガオ類の抑制に伴う手取り除草労力・コストの低減および大豆の増収効果が期待できます。

ザルビオを活用した成果

帰化アサガオ類の低減

収量の向上

手取り除草の省力化

※農研機構・西日本農業研究センターが、兵庫県、岡山県にて2か年6試験地(3法人)で行った実証試験では、帰化アサガオ発生圃場においてその有効性が確認されました。

これからの大豆栽培に貢献する
BASFの農業ソリューション

“大豆作は雑草との闘い”と言われるほど重要な雑草防除。
BASFはトータルソリューションで立ち向かいます。

雑草は大豆の養分収奪に伴う減収だけでなく、アサガオ等の
の難防除雑草が機械収穫を困難にするといった実害をも
たらします。難防除雑草を含めた雑草の効果的な防除
実現に向けて、BASFは農業×デジタルのトータルソリュ
ーションを提供致します。

大豆栽培でのこんなお悩み

- 最良な薬剤が
分からない
- 散布時期の
見定めが難しい
- 多筆管理が複雑

最先端の栽培管理支援システム
xarvio®(ザルビオ)フィールドマネージャーが
これからの圃場管理をサポートします。

ザルビオフィールドマネージャーの主なサポート機能

生育ステージ予測

作付け日、品種、地域の天気(1キロ範囲)等の
情報をAI解析し、圃場ごとの生育ステージを予
測番号(BBCH)で予測。異常気象や温暖化等で
予測が難しくなっている生産者の判断をサポート
します。

特長

簡単に始められる

作物の登録を行うだけで、作付日以降の生育ステージを
自動で予測・表示します。

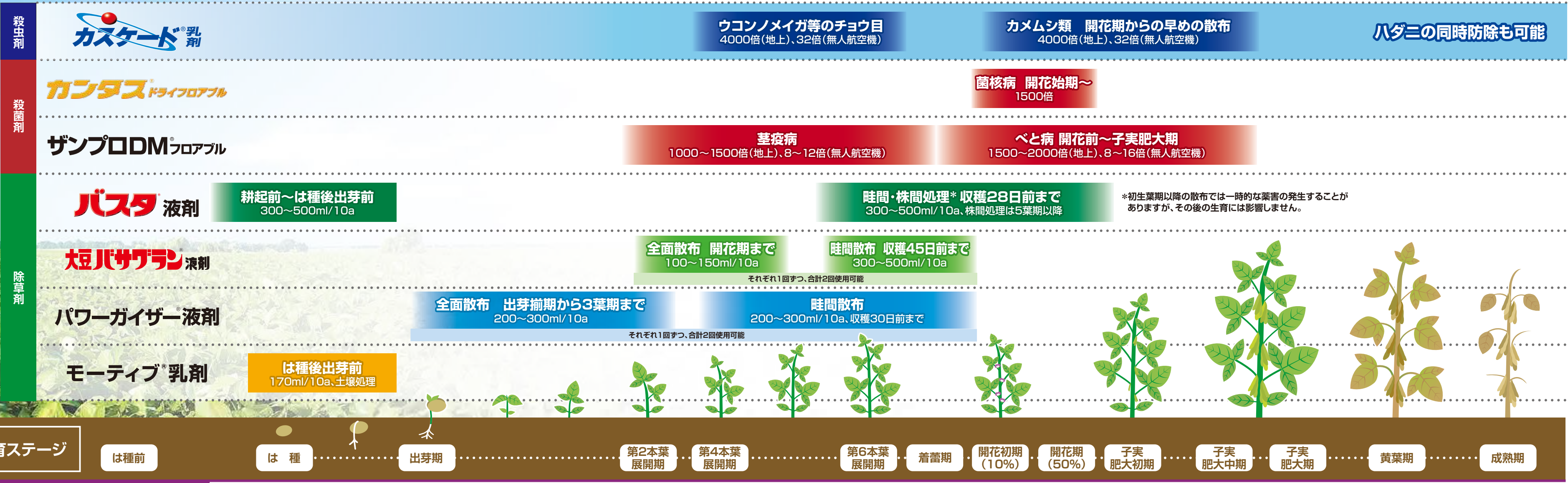
AIが生育状況を予測

全国190地点、35品種の予測精度調査で7割
が2日以内/8割が4日以内の精度で正しい生育ス
テージを予測(2021年時点検証時の精度)。

作業の適期を判断できる

適切な作業タイミングの判断に役立ちます。また重要な
生育ステージが近づくと、アプリに通知されます。

大豆におけるBASF剤のおすすめ散布方法と散布時期



BBCH*

マメアサガオ、マルバルコウを
対象とした除草剤の推奨体系例

雑草管理プログラム

畦幅、土壌種類、対象雑草を登録することで、雑草の最適な防除時
期や最適な除草剤を推奨し、作業内容をアラートでお知らせします。

特長

圃場毎に最適な除草体系を提案

問題となっている雑草種と栽培体系(通常畝幅or狭畦)にあった
理想的な防除体系を推奨します。

最適な防除時期が分かる

生育ステージ予測の情報を基に、各防除の最適なタイミングを
圃場毎にお知らせします。

初めて使う薬剤もガイドしてもらえる

推奨される薬剤の使用が初めての場合でも、使用する薬量やタイ
ミングが分かるので安心です。

雑草管理プログラムの使い方ガイド

①“新しいプログラムを作成”をクリック

●ステータスページの「雑草管理」タブを選択し、画面右上の
「新しいプログラムを作成」をクリックします。



●「推奨プロ
グラムを取得」
の順にクリッ
クします。

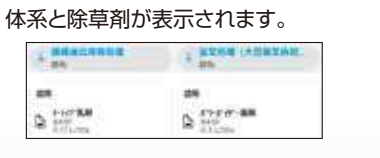
②必要な3つの情報を入力

●「土壌の種類」、「畦幅(通常or狭畦)」、
「対象雑草」の情報を入力します。



③条件に合った最適な防除
体系が推奨

●選択した内容に対応した推奨の防除
体系と除草剤が表示されます。



必要に応じて、薬剤の変更や散布
時期の変更も可能

●自分だけのオリジナルの体系を作成
することも可能です。



④散布アラートにより適期防除をサポート

●散布時期が近づくとアラートが表示されます。



●アラートをクリックすると散布
計画を立てられます。



●実施状況を確認できます。



BASF大豆用ソリューションラインナップと適用病害虫・雑草と使用方法(だいのみ抜粋)

無人航空機散布で幅広い害虫を防除!						
作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数
だいの	ハスモンヨトウ、ウコンノメイガ カメムシ類、ハダニ類 マメシキイガ、フタスジメハムシ ダイズサヤマバエ、ツメクサガ	4000倍	100～300ℓ /10a	収穫7日 前まで	散布 無人航空機 による散布	2回以内
		32倍	0.8ℓ/10a			

フルフェノクスロンを含む農薬の総使用回数：2回以内

豆類の灰色かび病、菌核病対策に!						
作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
豆類 (種実、但し、らっかせい あずき、いんげんまめを除く)	菌核病	1500倍	100～300ℓ /10a	収穫7日前まで	3回以内	散布

ボスカリドを含む農薬の総使用回数：3回以内

異なる作用の2成分で、べと病、茎疫病から大豆を守る!						
作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
だいの	べと病	1500～2000倍	100～300ℓ/10a	収穫7日 前まで	3回以内	散布
		8～16倍	0.8～1.6ℓ/10a			無人航空機による散布
	茎疫病	1000～1500倍	100～300ℓ/10a			散布
		8～12倍	0.8～1.2ℓ/10a			無人航空機による散布

アモクトラジンドを含む農薬の総使用回数：3回以内 ジメトモルフを含む農薬の総使用回数：3回以内

株間処理※が可能な非選択性除草剤!						
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
だいの	一年生 雑草	耕起前～は種後出芽前・定植5日前まで(雑草生育期)	300～500ml /10a	100～150ℓ /10a	3回以内	雑草茎葉 散布
		収穫28日前まで(株間処理：雑草生育期)				雑草茎葉 散布
		収穫28日前まで(株間処理：本葉5葉期以降雑草生育期)				雑草茎葉 散布

グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数：3回以内

大豆の広葉雑草防除の定番!						
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
だいの	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいの2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	100～150ml /10a	100ℓ/10a	1回	雑草茎葉散布又は 全面散布
		だいの生育期 (雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで				畦間雑草茎葉散布
		但し収穫45日前まで				畦間雑草茎葉散布

ベンタゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内(畦間処理は1回以内)

大豆出芽直前～3葉期まで全面処理できる茎葉処理剤!						
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
だいの	一年生雑草	出芽直前～3葉期まで (雑草発生初期～2葉期)	200～ 300ml /10a	100ℓ /10a	1回	雑草茎葉散布又は 全面土壌散布
		生育期(雑草発生期～2葉期) 但し、収穫30日前まで				畦間雑草茎葉散布
		但し、収穫30日前まで				畦間雑草茎葉散布

イマザモックスアンモニウム塩を含む農薬の総使用回数：2回以内(畦間処理は1回以内)

低コストの体系処理を可能にする土壌処理剤!						
作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
だいの	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	150～170ml /10a	70～150ℓ /10a	1回	全面土壌散布
		但し、収穫30日前まで				全面土壌散布
		但し、収穫30日前まで				全面土壌散布

ジメタナミドおよびジメタナミドPを含む農薬の総使用回数：1回以内 ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数：1回以内